（法第 10 条第 1 項第 5 号関係様式例）

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

本法人は、生命が脅かされる状態にある子どもとその家族を対象に、診断を受けた時から社会で生活する日々、そして子どもを亡くした後に至るまで、切れ目なく寄り添い続けることを目的とする。
子どもとその家族の生活の質を高め、地域に根差した豊かな暮らしが実現できるよう、多角的な支援を行う。
また、市民に向けた啓発活動を通じて、病気や障がいのある子どもとその家族が、笑顔で過ごせるよう、互いに支え合える社会づくりに寄与することを目指す。

2 申請に至るまでの経過

これまで任意団体として、病気や障がいをもつ子どもとその家族を対象に、佐賀大学医学部附属病院こどもセンターにて月 1 回の「付き添い家族支援」、「グリーフ支援・交流活動」、「きょうだい児支援」などの支援活動を継続して行ってきた。
また、市民に対する啓発活動として、「講演・啓発活動」、「音楽活動・演奏」、「地域イベント・マルシェ出店」などの取り組みを行ってきた。
さらに、地域全体で支え合える社会づくりを目指し、ひらまつ在宅クリニックや県庁地下 STOOL にて月 1 回の「優しさ循環ケアプロジェクト」を実施してきた。これらの活動を通じて、子どもと家族が抱える負担や孤立感、また地域における支援の必要性を強く実感してきた。
一方で、任意団体として活動を続ける中で、企業や支援者の方々からは「寄付や協賛金の使途がわかりにくい」「業績によっては継続的な支援は難しい」といった声をいただくこともあった。
活動をさらに継続・発展させていくためには、個人の想いやつながりだけに頼るのではなく、団体としての基盤や運営体制をより確かなものにする必要性を強く感じている。 医療・福祉・地域と連携しながら、安心して継続的に支援を届けられる存在であり続けるために、一度地盤を固め、持続可能な運営体制の構築に取り組む段階にきていると判断した。
こうした背景から、団体としての責任と透明性を高め、社会的信頼を得られる仕組みを整えるべく、法人の設立を発起し、今回の申請に至った。

令和 8 年 10 月 24 日

NPO 法人 warmhands17
設立代表者

氏名　原口　奈津希